



ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～

※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん・お母さん・妊婦さん、おじいさん・おばあさん、子育てが一段落した先輩ママさん地域の方など、どなたでもきていただける場所です。気軽にお出かけください。

※行事など詳細は毎月発行しているピッコロだより、支援センターホームページで確認いただけます。

◇ホームページ

揖斐川町 <http://www.town.ibigawa.gifu.jp/>
 揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp/>

揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 TEL 23-1136
 開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日
 9:00～16:00

◎町内幼稚園のなかよしタイム(園庭開放)

9月9日(水)・23日(水)
 詳しくは各幼稚園にお問い合わせください

◎揖斐幼稚園 開放日 9月16日(水)

♪幼稚園へ申込みください。
 (当日可) TEL22-6008

【9月の活動予定】

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 ♥教えてドクター 14:00～15:00 【小児科医 後藤先生 を迎え気になる症状についてお話が聞けます】	3	4 ♪収穫体験 【畑の野菜を 収穫しましょう】	5
6	7 育児相談 ♪音楽のひろば ハーモニー 【音楽に親しみましょう】	8	9	10	11 ♪お話ルーム 誕生会 【9月生まれ児】	12
13	14 育児相談	15 ★出前保育 清水公民館 【簡単な玩具を親子 で作りましょう】	16	17	18	19 第3土曜日開館日
20	21 敬老の日	22 秋分の日	23	24 ♪りんご いちご交流 【ホールで運動遊び】	25 ♪さくらんぼ ひよこ交流 【ホールで運動遊び】	26
27	28 育児相談	29	30	※新型コロナウイルス感染防止に伴い、講座・公民館 出前保育など中止する場合がありますので、支援セ ンターホームページ・電話でお問い合わせください。		

・行事の申込みは、前月の第3水曜日より実施日まで、揖斐川子育て支援センターで受け付けています。(電話予約不可)

♥は要申込み ♪は要申込みで人数制限があります。★はどなたでも参加できます。

・荒天で行事を中止する場合があります。支援センターまでお問い合わせください。

★子育て支援センターは、子ども(0～18歳未満)のあらゆる相談窓口です。 *一人で悩んでいないで気軽にご相談ください。

子育てQ&A

睡眠について



Q

1歳2ヶ月の子です。午後10時から午前1時にならないと寝ません。夜中も1～2回授乳し、朝7時に起床。朝と夕方2～3時間ずつ昼寝をしています。なかなかこのリズムは崩せません。8時頃には寝かせつけるようにするにはどうすれば良いのでしょうか？

A

規則正しい生活習慣は身体だけでなく、脳や言葉の発達にも影響するため早寝早起きの習慣つけることは重要です。もうしばらくして、子ども自身の体力がつくと昼寝も1回で済むようになり、必然的に早寝ができるようになると思います。また、時間があるときに外遊びに行くことで、体力作りに繋がると同時に、生活のリズムを整えられるかもしれません。

1歳ぐらいでは、子どもの体調も定まっていないこともあるので、生活の様子を十分に観察しながら、焦らずリズムをつけていくことが大切です。
 —子育て相談より抜粋—

揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。
～子育て支援センターの紹介～

子どもたちや保護者の楽しそうな声が響いています。
ホールを元気よく走る時に出る声、お友だちが使っている玩具が欲しくてなんとかしようとする姿、保護者同士お子さんのことで話す姿など、活気にあふれています。

♥年齢別交流♥ 簡単な手作り玩具を親子で作りました。シールを貼る、サインペンで描くなど、子ども自身ができる事を楽しみました。



りんご交流【3歳児】



いちご交流【2歳児】



さくらんぼ交流【1歳児】



梅雨を楽しむ
部屋飾り



メリーボトル
作り



引っ張り
布遊び

いきいき園キッズコーナー！

遊びを通して「わくわく遊び」

～ 組合立養基保育園 ～

生き物が大好きな養基保育園の子ども達。晴れた日には、石の下のダンゴムシを見つけたたり、草の中のバッタを探したり、また雨の日でも傘をさしてカタツムリやカエルを探したりして遊んでいます。

捕まえた生き物を図鑑で調べたり、むしめがねで「あっ、足に毛がはえとる」と発見したり。七夕のお楽しみ会では5歳児が大好きな虫とレストランを組み合わせて「むしきんぐとなんでもレストラン」のコーナーを作りました。箱や色画用紙を使って虫作りに挑戦。イメージ通りに作ることは難しかったようですが、できあがった時はみんなでコーナーを作り上げた達成感を味わうことができました。

4歳児はザリガニを育てました。一度は死んでしまったのですが、子ども達から「今度はちゃんとお世話するで、もう一回飼いたい」と要望がありました。そこで、みんなで相談し「あんまり触らんようにする」「水をかえる」など約束を決めて育てました。

子ども達は生き物を育てる経験を通して、世話をしないと死んでしまうことに気付き、どうやって飼うと良いのか、何を食べるのかと考え、学びました。これからも生き物を大切に育てる気持ちを持って欲しいと願っています。

